

平成 30 年第 4 回定例会一般質問通告事項

9 月 6 日 午 後	<p>石 森 啓 司 議員（尾道未来クラブ） 質問方式：一問一答方式</p>
	<p>1 災害別指定避難所の再確認と各地区指定避難所の見直しについて (1) ホームページと防災マップでは避難する場所の災害種類が違 うところがあるので改善しなくてはなりません、いつまで に見直し修正しますか。 (2) それぞれの避難場所はどのような考えで決められたのですか。 地域の意見も聞いて決めるべきと思いますがいかがでしょう か。 (3) 地域の災害別避難場所を地域関係者に熟知していただき連絡 網を設置するなど情報交換をするべきではないでしょうか。 (4) 避難準備・避難勧告・避難指示などが発令され、避難所が開設 されるまでの時間はどのくらい要すると考えたらよいか。</p>
	<p>2 長期的避難で一番困るトイレ問題について (1) 長期避難で断水した場合のトイレ対策は今準備している避難 備品で対処できるのか。 (2) 簡易トイレ・携帯トイレの準備状況と各避難所のトイレ実態に ついて。 (3) 誰もが避難しやすい仕組みとして避難所のトイレ洋式化は 5 0%以上にすべきではないか。</p>
	<p>3 本気で市民の命を守るための備蓄品と保管場所の見直しについ て (1) 停電になったときのことを考え防災備品に発電機を入れない 理由は。 (2) 実情に合った防災備品の種類の見直しと、保管場所は避難所に するべきではないか。</p> <p>4 災害用語の認識と命を救うための啓蒙活動について (1) 避難勧告や避難指示が出たあと市民にはホームページやライ ン・テレビ等以外にはどのような手段で伝達したのか。 (2) 避難された方は全市内で何名おられましたか。そのとき避難者 に対し食事はどのように対処されましたか。 (3) 避難準備・高齢者等避難開始・避難勧告・避難指示などの用語 がありますが市民はどの程度理解しているとお考えでしょ うか。</p>

5 地域実態に即した防災組織の構築について

- (1) 防災、災害後の対策は地域の協力なしにはできません。地域の要望に応えられる防災援助を考えるべきではありませんか。
- (2) この度活躍した井戸水を災害時に使えるよう水質検査等を公費で行うつもりはありませんか。